



梅の実・あんずの実

学校長 高島 典子

昨年の6月は、一斉休校が解除され、分散登校が始まった時期でした。早いものでもう1年が過ぎ去りました。子どもたちはマスクや手洗いなどに気を付け、我慢を強いられる中でも学校生活を元気に過ごしています。しかしながら、先の見えないコロナ禍のため、教育活動もいまだ制限が多く、6月に予定していた4年生、5年生の宿泊体験学習が変更や延期となったことは誠に残念でした。

また、例年ですと6月からプール開きとなり水泳学習が始まるのですが、文部科学省の通達では隣同志2mの間隔を開け、話をせず・・・etc.とありました。2mの間隔を開けて実施となると、1回の水泳学習に1クラスしか行えません。そうすると、天候の関係で、同じ学年でも実施できるクラスとできないクラスとが出てしまう可能性があります。また、水泳学習は命に直結する危険もあり、安全を十分に確保しなければなりません。担任一人で水泳指導もできず、とはいえ他の教諭も授業があるため指導体制を組むことが難しくなります。また、水に入る時はマスクを取り、口や鼻からも唾液等が出るのを止められませんので、感染症対策を講じてもなお感染リスクが高い活動と言わざるを得ません。その他熱中症など、様々な状況を考慮し、残念ですが基本的には水泳学習を断念し、今年度の水泳学習は6年生の着衣泳のみといたします。着衣泳は一度経験しておくといよい活動ですので、日程の調整をしてまたお知らせいたします。

5月25日から2学年(ペア学年)によるたてわり遠足が始まりました。21日にはそれぞれのグループを結成し、自己紹介や遠足の計画をたてました。初日の25日には6年生が1年生をリードしながら校庭で出発式をし、その後南公園にてそれぞれの活動を行いました。当日は6年生が1年生にやさしく声をかける等、上級生らしいふるまいに思わず笑みがこぼれました。6年生からも楽しかったという声を聞きました。28日には、3年生と4年生のペアも、4年生が中心となって計画した活動をグループで楽しみ、仲を深めました。残念ながら雨天で延期になった2年生と5年生のペアは6月4日(金)に本校校庭に場所を変更して実施する予定です。

校門から昇降口までの間に、梅の木とあんずの木があり、実をつけています。個別支援学級では梅を使つての活動をコロナ禍前には毎年取り組んでいましたが、今年は実を取る活動のみとなりました。青梅はそのままでは食べられないので、落ちていた実を拾っていた児童には注意喚起をしたところです。また昨年度、私が着任した時にあんずの実が落ちていることに気づき、職員に紹介した後、少量ですがジャムを作ってみました。

その他、学校の草むらで取った虫や、プールに生息していたヤゴを育てる児童などもあります。全くの自然状態とは言えませんが、身の回りに目をむけると新たな発見があるようです。



